

介護老人福祉施設 琴 清 苑

琴 清 苑 だ よ り

社会福祉法人 双葉会 (第8号)

〒198-0212 東京都西多摩郡奥多摩町氷川1099 TEL0428-83-3932

URL <http://www.futabakai.or.jp> e-mail kinseien@futabakai.or.jp



4月6日 お花見 (御園園地駐車場にて)
義上尊一様・中村一巳様

施設開設より四半世紀

開苑25周年によせて

家族会副会長 志茂新子

開苑25周年おめでとうございませう。施設長さん始め職員の方々へ心より、お祝いと御礼を申し上げます。

縁があり、開苑当初からお世話になりました。25年の年月の重さ、速さをあらためて感じています。皇光明親王、山崎水明の奥多摩の地に、福祉の理想を高く掲げ、琴清苑が開苑して以来の四半世紀に渡る歩みは、正に少子高齢化の急速な進展の歩みそのものである様に思えます。少子高齢化社会の到来は、以前から声高に叫ばれていました。正確なところ自分自身に関わる問題であるとの実感は少ないものでした。ふと気が付けば、自分の周りはお年寄りばかり。自分でお世話すべき人も琴清苑でお世話して頂いている現状です。私の現状が多くの人の現状であり、日本の現状なのでしょう。返り出すことのできない老人福祉社会が現実なのです。私は、反省しつつこの現実を認め、感謝し、歯をこすりながら、高齡化社会、高齡化家庭に寄り添いたいと思っています。財政を始め様々なデメリットがあるとは思いますが、5M(ママ)いじやないですか。老人天国とまでは思いませんが、天国へ送りたく少し前の私様になる前の子コソットいいものです。区間するところによれば、介護保険法の施行以来、介護の本分を疑いも少ない。室利至上に走り出している施設も多いとのことですが、琴清苑は法制度や社会情勢の変化に変わらぬ温かな介護サービスを提供し続けて頂いていることは、感謝に堪えません。当然のことですが、25年の歩みの中で、利用者も職員も潤われれば大分代りしました。今は亡き職員の方々にも、大変お世話になったことが、懐かしく憶われます。

今後も職員の皆様のご心が心のこもった介護サービスが25年の歩みに続くことなく、否、益々確実を増して、私たち利用者にとっての明るい打明で有り続けて頂きます様お願いし、期待申し上げます。

末娘ながら、琴清苑の皆さまのご健康と、利用者、職員の皆様のご多幸、ご健勝を祈念申し上げます。

ニュース 寿楽荘改築完成



中庭



寿楽荘全面改築進行状況



平成13年3月撮影

寿楽荘再建の主な特徴

4000年の昔から古代民族が住んでいた住み心地の良い大地、秩父多摩甲斐国立公園の連山に囲まれ四季の変化に富んだ高原集落その中心に、三千坪の豪華建築「寿楽荘」は、2001年に再建されました。

21世紀の歴史の幕開けに相応しい長期的視野に立った老人介護の超一流施設として今後多くの高齢者の安息の場となることと思います。

施設内容の主な特徴を列記して紹介します。

1. 定員190名 ショート6名
2. 双葉会診療所が独立棟として廊下続き
3. 施設は入り口から総て段差なし
4. 一人部屋が40室 20パーセント
5. 各室総てトイレと洗面所付き
6. 随所に談話室
7. 全館床暖房
8. 心の拠り所として仏間に芸術品陳列
9. 介護員と居室との電話連絡
10. 広大な中庭
11. バルコニーは総て車椅子自由行動
12. 食堂2ヶ所、内1ヶ所は喫茶部付き
13. エレベーターは2ヶ所
14. ホール兼リハビリには迫り上げ舞台付き
15. 職員更衣室にはシャワー付き



4月8日、御岳園地駐車場へお花見へ行って来ました。
 利用者33名・職員15名の計48名がマイクロナバス2台・乗用車2台にそれぞれ分乗し、午後2時に苑を出発しました。途中車酔いする利用者もなく、久しぶりの外出に車窓の風景を見ながら、予定時間通り現地に到着しました。到着後は、車椅子に乗る人・ベンチに座る人・歩いて周りを散歩する人等様々で、満開に咲いた桜を見ながらジュースとお菓子を召し上がり、美味しかったです。帰りは、御岳のステーキショップで楽しみにしていた土産を買いました。皆さ午後4に無事帰宅されました。皆さんの顔が綻び、とても楽しい半日を過ごされました。

お花見

介護職員 郡司ハル子



お祝迎様に手を合わせる山口はま様 介助するのは荒井介護職員

花祭り

琴清苑では、4月8日のお祝迎様が、お生まれになった日に、健康なごの願いを祈りつつ、お祝迎様に甘茶を掛ける、花祭りを行います。



左から杉山國子様・森介護主任・水野キク工様 島崎介護職員・古川登美子様

ホームバー

介護職員 杉山初子



澤田正子様と酒井介護職員
澤田様がとても嬉しそうです。

桜の花や、色々な花が咲き揃い山々には新緑が芽吹き、気持ちの良い季節になってきました。そんな4月20日の夕刻からホームバーが行なわれました。
一杯飲むのを楽しみにしている利用者は、放送が流れるのを心待ちにし、流れると同時に早々と集まって下さいました。今回も前回と同様、職員の手作りによる品々と利用者の方々をおもてなししました。色々メニューがある中、今回は、肉じゃがが大好評で皆さん「おいしい、おいしい」と喜んで下さいました。
そして時間が過ぎていく中、お酒を少々飲まれほろ酔い気分になり、陽気になってる人・気の合う人と話に花を咲かせている人・好きな介護職員と二人で写真を撮ってもらい満足をしている人など、今回も、それぞれが楽しい時を過ごされた事と思われまます。



焼き鳥が大好きな金子善友様



小野塚豊治郎様と坂村看護職員
ナース姿より今夜はチャイナ服に変身です。



ショートステイで利用の杉山理平様と原島栄義士



代表で記念品を頂いた利用者の方々
左から皆方秀雄様、岡部邦男様、原島キミ様

琴清苑家族会



平成13年5月13日、第24回琴清苑家族会が開催されました。射の芽が吹き、窓の外からは新緑の芽が吹く、爽やかな日なび風景が印象的でも、家族ばかりには、利用者の方々も、お集まりに、向けて、毎日、家族会を練習して、楽しんで、大盛況に終わりを告げ、感謝の気持ちから、少人数でも利用者が、これからの活動に、励むことが、この家族会を通じて、行きたいと思

介護職員 島崎賀恵子

カラオケ大会



村木シゲ様



左から小峰・杉山・吉田
介護職員



皆方秀雄様



島崎介護職員



家族会にて
奥住やす様親子のひとコマ

